

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公表番号】特表2011-503303(P2011-503303A)

【公表日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533469(P2010-533469)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 201/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月4日 (2011.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

薄層における分離された相の定義された形態の調整方法であって、前記層を製造するために使用される、少なくとも 1 種のポリマー ( P 1 )、固相においてポリマー ( P 1 ) と非相溶性である少なくとも 1 種のポリマー ( P 2 ) 及び / 又は固相においてポリマー ( P 1 ) と非相溶性である架橋剤 ( V ) を含む被覆材料であって、前記ポリマー ( P 1 ) 及び / 又は ( P 2 ) が、該被覆材料が硬化する間に反応して共有結合を形成する少なくとも 1 個の官能基 ( a ) を有する被覆材料に、平均粒径 ( D ) が  $< 1 \mu\text{m}$  であり、且つ、平均粒径 ( D ) の平均粒子厚さ ( d ) に対する  $D / d$  比が  $> 50$  である異方性粒子 ( T ) を導入する段階と、前記被覆材料を、基材及び / 又は予備被覆された基材に塗布する段階と、次いで硬化する段階とを含むことを特徴とする前記方法。